

インドネシア水道に係る情報収集 No. 180702J

検索サイト	Google	実施日	2018/07/01	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア AND 水道」で検索（「インドネシア の 水道」と表示される）					
URL: https://www.jbic.go.jp/wp-content/uploads/topics_ja/2014/04/20640/danno_20140317.pdf					
<p>標題：最近の水ビジネス市場と主要プレイヤーの動向</p> <p>2014年3月17日</p> <p>株式会社日本総合研究所 総合研究部門 社会・産業デザイン事業部 シニアマネジャー 段野孝一郎</p>					
<p>内容：世界の水ビジネス市場の現状と将来についてまとめた資料</p> <p>まとめに代えて（資料の最後にある）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水ビジネス全体の市場規模は2025年頃に100兆円を超える。 ・一方で、水ビジネスにおける民間活用のあり方は地域ごとに違いがあり、自社の目指すビジネスモデルによってターゲット地域が異なってくるため、地域性（国ごとの水ビジネスに関する法制度、事業構造）を十分に検討する必要がある。 ・水ビジネス市場の競争環境は変化しつつある。 ・日本企業が検討すべき方向性 <p>○事業運営や施設運営（BOT等）においては、現地のローテク活用を前提として、設備の新設／更新において最もコストパフォーマンスの高い方式／製品を調達しつつ、NRWの削減や投資計画の効率化によってUpsideを実現</p> <p>○EPCにおいては、特定の地域あるいは製品／技術方式等においてシェアを高め、レイバーコストや機器調達コストを低減することで利益向上を実現</p> <p>○機器／サービス提供においては、維持管理費用低減に資する技術開発を通じて新たなニーズに対応</p>					
備考 元はppt資料（全56p）と思われます。読みごたえ、見ごたえのある資料。今でも十分参考になる。					